

令和5年定例会 5月特別議会

産業建設常任委員会調査報告書

令和5年5月12日

産業建設常任委員会

# 産業建設常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和5年2月2日～令和5年5月11日

日時	活動区分	内容	頁
2.2(木) 11:10～11:38	協議	<p>《委員のみ》</p> <p>■ 2月定期議会中における調査事項について</p> <p>〔出席者〕 佐々木幸一委員長ほか委員7名</p>	-
2.13(月) 10:00～16:50	所管事務調査① (議案調査)	<p>《建設部》</p> <p>■ 登米市道路占用料条例の一部改正について</p> <p>■ 市道路線の認定、廃止について</p> <p>■ 令和4年度登米市一般会計補正予算について</p> <p>《産業経済部・総務部・まちづくり推進部》</p> <p>■ 登米市登米地場産業振興の館条例の一部改正について</p> <p>■ 登米市米山農村総合管理施設条例の廃止について</p> <p>《産業経済部》</p> <p>■ 登米市損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の一部改正について</p> <p>■ 字の区域を新たに画することについて</p> <p>■ 令和4年度登米市一般会計補正予算について</p> <p>■ 令和4年度登米市宅地造成事業特別会計補正予算について</p> <p>〔出席者〕 佐々木委員長ほか委員7名 建設部 伊藤部長ほか6名 産業経済部 遠藤部長ほか6名 総務部 小野寺理事ほか3名 まちづくり推進部 伊藤観光シティプロモーション課長</p>	-
2.14(火) 13:00～15:12	所管事務調査②	<p>《産業経済部》</p> <p>■ 迫にぎわいセンターの所管替えについて</p> <p>■ 登米市農業振興ビジョン中間見直し(素案)について</p> <p>〔出席者〕 佐々木委員長ほか委員6名 産業経済部 遠藤部長ほか6名</p>	-

日 時	活動区分	内 容	頁
2.22(水) 10:00~15:33	所管事務調査③ (議案調査)	<p>《農業委員会》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■令和4年度登米市一般会計補正予算について</li> <li>■令和5年度登米市一般会計予算について</li> </ul> <p>《建設部》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■令和5年度登米市一般会計予算について</li> </ul> <p>[出席者] 佐々木委員長ほか委員7名 農業委員会 遠藤事務局長ほか2名 建設部 伊藤部長ほか8名</p>	-
2.28(火) 10:00~16:12	所管事務調査④ (議案調査等)	<p>《産業経済部》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■令和5年度登米市一般会計予算について</li> <li>■登米市農業振興ビジョン中間見直し(素案)について</li> </ul> <p>[出席者] 佐々木委員長ほか委員7名 産業経済部 遠藤部長ほか6名</p>	-
	協 議	<p>《委員のみ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■委員会報告書について</li> </ul> <p>[出席者] 佐々木委員長ほか委員7名</p>	
3.16(木) 15:00~16:35	意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>■登米市振興協同組合との意見交換会</li> </ul> <p>[出席者] 佐々木副委員長ほか委員5名 登米市振興協同組合 及川理事長ほか13名</p>	5
3.22(水) 9:57~15:30	所管事務調査⑤ (議案調査等)	<p>《産業経済部》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■財産の処分について</li> <li>■令和4年度一般会計予算について</li> <li>■迫にぎわいセンターの所管替えについて</li> </ul> <p>《建設部・総務部》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■令和4年度一般会計予算について</li> <li>■立地適正化計画(案)について</li> </ul> <p>《農業委員会》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■令和4年度一般会計予算について</li> </ul> <p>[出席者] 佐々木委員長ほか委員7名 産業経済部 遠藤部長ほか6名 建設部 伊藤部長ほか7名 総務部 小野寺理事 農業委員会 遠藤事務局長ほか2名</p>	-

5. 9 (火) 10:00~11:03	所管事務調査⑥	《産業経済部》 ■令和5年度一般会計予算について [出席者] 佐々木委員長ほか委員6名 産業経済部 千葉部長ほか3名	-
	協 議	《委員のみ》 ■委員会報告書並びに引継事項について [出席者] 佐々木委員長ほか委員6名	

# 産業建設常任委員会 活動概要

## 【意見交換会】

1. 日 時：令和5年3月16日（木） 午後3時～午後4時35分
2. 場 所：迫公民館 2階 軽運動場
3. 事 件：登米市振興協同組合との意見交換会
4. 出席者：副委員長 佐々木好博  
委 員 浅田琢哉、伊藤善博、岩渕正弘、佐藤千賀子、及川昌憲、  
(欠席) 委員長 佐々木幸一、相澤吉悦  
  
(登米市振興協同組合)  
理事長 及川 浩、副理事長 遠藤光則  
理 事 皆川洋子、千葉美智子、三浦義明  
監 事 岩渕文昭、千葉芳照  
  
(登米地域商工会)  
登米中央商工会 会長 熊谷敏明  
みやぎ北上商工会 会長 熊谷 毅  
登米みなみ商工会 副会長 千葉政典  
  
(登米市振興協同組合事務局)  
登米中央商工会 課長 野田哲也、主査 早坂 公  
みやぎ北上商工会 課長 森 淳  
登米みなみ商工会 佐藤秀雄  
  
(議会事務局) 政策・改革係長 主藤貴宏
5. 概 要：(別紙のとおり)
6. 所 見：(別紙のとおり)

## ■登米市振興協同組合との意見交換会

### ○概 要

市内商工業者の現状及び課題の把握、議会の委員会活動等について相互理解を深め、地域経済の活性化を目指すことを目的に、登米市振興協同組合との意見交換を行った。

意見交換のテーマは、「登米市商工業の今後の在り方について」であったものの、これまで登米市振興協同組合が実施してきた「共通商品券発行事業（とめっこマネー）」の廃止に関する内容が中心となった。



### ○所 見

共通商品券運営事業は、「地域内経済の循環を促進し、市内商工業者の振興を図る」ことを目的に実施されたものであり、令和5年度からの事業中止は本市地域経済にとって間違いなく衰退を招くものである。

本事業に関しては、当委員会として再三にわたり改善を求めていた中での今回の決定は残念としか言いようがない。

他自治体では、地域通貨により地域経済の向上が図られている中、本市においてなぜこのような結果になったのか。執行当局と事業を実施してきた振興協同組合には猛省を求めたい。

議会としても、本事業における重要性の認識が薄れていたという側面は反省せざるを得ないが、困窮する地域経済を活性化するには地域通貨の取組は重要な施策の一つと考える。

今回の件を契機に、改めて地域通貨の在り方を再検討すべきではないか。

# 産業建設常任委員会 活動概要

## ○今期委員会のふりかえり

当委員会では、今期の活動テーマに、本市の「地域経済・産業振興」「農林業振興」「市街地活性化とインフラ」を掲げ、委員会活動を行ってきた。

まず、「地域経済・産業振興」について、コロナ禍における経営への影響や雇用状況を確認するため、市内企業の訪問や道の駅駅長など各種団体との意見交換を通し、現状と課題の把握に努めた。経営面に対するコロナ禍の影響は大きく、企業努力により何とか耐え忍んでいる状況を目の当たりにした。今後は、社会経済活動の大幅な緩和による活性化に期待するところであり、引き続き市内企業等の状況を把握していく必要がある。

次に、「農林業振興」について、本市農業における課題の一つに「指定廃棄物（汚染稲わら）の一時保管の長期化が挙げられる。震災後11年が経過してもなお、依然として進展が見られていなかったが、令和4年11月、市長、議長と共に環境大臣へ要請する機会を得た。大臣からは、「まずは個人保管分を解消したい」と前向きな回答をいただいております、今後は事業の進捗を注視していく必要がある。

「市街地活性化とインフラ」に関しては、令和5年度内の策定を目標としている立地適正化計画について、主に「誘導施設」と「防災指針」の2項目を中心に調査してきた。計画内容について概ね了承したが、今後は誘導施設の具体的検討と、防災・減災に向けた取組の実践が求められる。

また、市街地の治水安全度の向上を図るため、宮城県が進める長沼川河川改修事業の進捗状況も調査し、更なる防災対策の向上に向けた要望も行ってきたところである。

本委員会の所管である市民生活を支える基盤や経済活動を支える基盤がしっかり持続されるためにも、委員会として各種施策の調査を行い、提案や提言を行う必要がある。

### 【今期委員会による要請・提言事項】

#### ■要求・要請

- ・米価下落への早急な対応を求める要請
- ・内ノ目地区ほ場整備の早期実現に向けた要求
- ・冠木船着場の復旧に向けた国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所への要請
- ・指定廃棄物の早期処理に関する環境大臣への要請

#### ■提言

- ・水辺空間を活かしたまちづくりの実現に向けて

- ・日本一の地域資源循環型・環境保全農業の実現に向けて  
(事務事業評価による提言)

次期委員会においても、下記事項について調査・検討がなされるよう期待する。

## 《引継事項》

### ①放射能汚染廃棄物処理状況の進捗把握について

令和4年度に行った「指定廃棄物の早期処理に関する要請」の際に、環境大臣から回答を得た事項（個別保管の早期解消に向けた取組）の進捗を把握する必要がある。また、農林業系廃棄物の処理に向けては、令和13年度までに安全かつ着実な処理が求められる。

それぞれの進捗を把握し調査を進めながら、必要に応じて要請活動を行うなど、一日も早い放射能汚染廃棄物の解消に向けて取り組まれない。

### ②登米市みどりの食料システムの確立に向けて

令和5年3月に宮城県と県内35市町村の共同により、「宮城県みどりの食料システム戦略推進基本計画」が策定された。今後、本計画に掲げる目標達成に向けて、より効果的かつ強力で事業を推進するためにも、「登米市みどりの食料システム戦略」を確立すべきである。

手段として、有機JAS取組面積が宮城県内一のメリットを生かした「オーガニックビレッジ（有機農業に地域ぐるみで取り組む産地）」の取組が有効と捉えており、引き続き調査・研究を進め、戦略の確立に向けて取り組まれない。

### ③人・農地プランから地域計画の策定に向けた事業の進捗把握について

これまで、人・農地プランを作成・実行してきたが、今後、高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される。

このことから、既に実行中の「人・農地プラン」に、10年後の担い手を考えた「目標地図」を加え、新たに『地域計画』として令和6年度中に策定する必要がある。

進捗を把握し調査を進め、より実効性のある地域計画となるよう取り組まれない。

### ④森林環境譲与税を活用した森林整備の推進と木材利用促進について

森林環境譲与税は、森林整備や各種施策推進のために、地域の実情に応じた幅広く弾力的な事業を実施することが可能な財源であり、有効活用に向けて、令和4年3月に登米市森林環境譲与税活用ガイドラインが策定された。

森林整備に係る課題として、適正な時期に間伐等が実施できていない、林道や



作業道等の整備が進んでいないことが挙げられ、さらに木材利用の促進に当たっては、需要と供給のミスマッチが常態的に存在している。

このサプライチェーンの再構築を進めることで、市内産木材の利用率向上が図られ、健全な山の利用サイクルとなり、結果として、適正な森林整備にも繋がる。

森林環境譲与税を有効活用した、新たなサプライチェーンの確立に向けた調査・研究に取り組まれない。